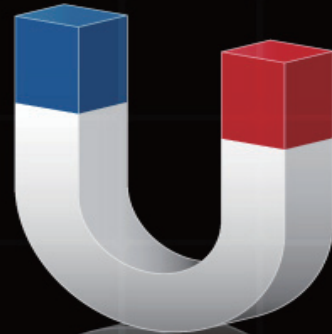


Composite Material,
In the World

ONLY

1



We are aiming at evolution from Only One manufacturer of bonded magnets to the world Only One of composite materials.

【射出・押出し成型用プラスチックマグネット材料】

- ・フェライト系コンパウンド
- ・ネオジム系等方性コンパウンド
- ・ネオジム系異方性コンパウンド
- ・サマコバ系異方性コンパウンド
- ・希土類+フェライト系コンパウンド



【射出成型用軟磁性プラスチック材料】

- ・ソフトフェライト系コンパウンド
- ・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト

《営業部》

〒709-0514

岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL : 0869-88-1888 / FAX : 0869-88-0204

《東京営業所》

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301

TEL : 03-5810-6825 / FAX : 03-5810-6826

URL : <http://www.mate.co.jp/>

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reserved.

編集後記

BM 素心は「会長就任の挨拶」と題して6月の通常総会で当協会の会長に就任された森本耕一郎氏にご執筆頂いた。これまでも既に長い間協会にご貢献頂きましたが、新たに協会を牽引して頂く考え方などが記述されており、ご活躍を期待したい。

BM レポートは「希土類磁石の現状とその応用製品の開発動向およびそれを支える成形・測定技術」と題して5月に行われた技術例会の講師の皆さんのご了解を得て再掲載させて頂いた。射出成形ボンド磁石では如何にして流動性を高めたままフィラーの充填量を増やせるかが重要な技術であり、参考にして頂けたら有り難い。応用例としてはフェライトボンド磁石の特徴を生かした報告もあり参考になった。さらに、希土類焼結磁石および希土類ボンド磁石のトップメーカーにお願いして現状および将来についてご講演頂きました。参考になれば幸いです。

最近公の場での不正事例が多数発覚しており、世の中大騒ぎであるが、これっていったい何なのでしょう？悪いことは兎に角正していく必要があるのですが、あまりにも行き過ぎた報道などの影響もあるのではないかと心配しています。

協会ではこれまで技術例会後に懇親会を行うのが恒例で、9月の技術例会後も参加者の約半数以上が参加するという盛況ではありますが、企業によってはこのような集まりに参加できにくくなっているところがあると聞いています。談合などについては論外ですが、会議後に関係者と懇親を深め、情報交換をすることで新しい成果に繋がるヒントが生まれる場でもあるわけですが、あまりにもステレオタイプな規制によって我が国の企業活動が委縮してしまっているのではと心配するこの頃です。以前に良く言われた言葉は、会議後の触れ合いがより重要とのことでした。蝸壺に嵌ってしまわないよう何か良い工夫はないのでしょうか。

機関紙編集委員長

大森 賢次